

**問** ボランティアポイント制の導入は

**答** 包括を中心に議論

西元

介護予防にとって同じ保険料を収め、使わなければ損だと思うのではなく自ら生きがいを持ち健康であり続けることにより社会貢献しているパワリハのサポーターのようなボランティアの存在は大きい。その評価と共に今後の人材確保のためにもボランティアポイント制導入等の検討の考えはないか。

町長

必要性は理解できる。サポーターの人材確保についての議論の中で包括中心に検討していきたい。

**問** 調理室充実に向けての改善は

**答** 利用しやすい施設に



里楽調理室

西元

西庁・里楽の調理室は町内の様々な協力団体が主に使用している。椅子の汚れや扉の開閉角度、調理器具やガス等、不便な点が多い。充実に向けての改善は可能か。

町長

早急に確認をし、各利用団体の意見も踏まえ適正な管理、利用しやすい施設になるよう努めていきたい。

西元

**問** 介護保険事業計画に住民の声を

**答** 多くの声を聞く機会をもつ

第6期介護保険事業計画は要支援が自治体に移管されることもあり、これまで以上の実態把握と協議が必要である。パブリックコメントの期間を早めに設け再度住民の声を計画に反映していくべきだと思うが計画策定の具体的スケジュールはどうか。

町長

これまでの課題も十分議論し、よりよい計画のためできる限り多くの住民の意見を聞く機会を作りながら行いたい。

津野住民福祉課長

現在実態調査の準備中で5月27日に委嘱された10名で委員会を開催する。27年1月までに案を固め3月に終了予定。